

さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会 令和4年度第2回会議 会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和5年3月6日（月） 18：30～19：45
- 2 場 所 さぬき市寒川庁舎 1階多目的ホール
- 3 出席者〔委 員〕 12名
南 篤・為國真理・植村麻里・赤松美智代・宇山真奈美・防越一美・
穴田美知子・谷風恭子・都築昌悟・清原真規子・辻よしみ・白井邦
佳 （欠席者：神前政季）
〔委員外〕 木田恵美子（大川地区医師会在宅医療介護連携支援センター相談員）
〔事務局〕 真部哲男・伊藤英樹・山本浩晃・藤田宏江
〔傍 聴〕 なし
- 4 議 題 （1）令和4年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について
（2）令和5年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について

- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>(開会)</p> <p>本協議会は、地域の医療・介護関係者等に参画いただき、在宅医療と介護の連携について検討することを目的として設置している。</p> <p>本日の会議について、本来、昨年8月に委員改選後の最初の会議を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度第2回及び今年度第1回会議を書面会議となった。本年度第2回については、高齢者や医療従事者、また、介護事業所従事者のワクチン接種が進んでいることなどもあり、感染症対策を十分に行ったうえで開催している。委員の任期は、6年3月31日までの2年間となっているので、よろしく願います。</p> <p>(課長挨拶)</p> <p>(自己紹介)</p> <p>(会長及び会長職務代理の選任)</p>
(事務局)	<p>本協議会の設置要綱第7条の規定では、会長が会議の議長とされているが、本日の会議は、委員改選後初めての会議であり、まだ会長が選出されていないので、会長が選出されるまでの間、事務局で議事の進行をする。</p> <p>議題(1)「会長及び会長職務代理の選任について」、設置要綱第5条の規定により、本協議会には「会長」及び「会長の職務を代理する委員」を置くことになっている。従って、会長及び会長の職務を代理する委員を互選により定めることとなっている。事務局の案として、会長は、大川地区医師会理事の南委員にお願いしたいと思うがいかがか。</p> <p>(委員から意見等無し)</p> <p>会長は、大川地区医師会理事の南委員に願います。</p> <p>(委員の承認がある)</p> <p>会長の職務を代理する委員は、会長があらかじめ指名する委員とされている。南会長いかがか。</p>
(会長)	<p>香川県立保健医療大学教授の辻委員にお願いしたい。</p> <p>(辻委員の了承あり)</p>

(会 長)	(会長挨拶) 協議会当初に委員を務め、今回会長として選任されることとなった。役に立てればと思うので、よろしくお願ひしたい。
(議 長)	(議事進行) 議題（２）令和４年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について、事務局から説明を求める。
(事務局)	(事務局説明 議題の「(２) 令和４年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について」資料１～６、９、１０ページについて、「看取り支援に関するアンケート調査結果」等も併せ説明する。)
(相談員)	(相談員から、「介護事業所等一覧についてのアンケート調査報告」及び「大川地区医師会 在宅医療アンケートについての調査報告」について、追加説明を行う。) 在宅医療、往診、訪問診療機関の情報について、公表範囲等医師会で検討し、活用される一覧を目指したい。
(議 長)	意見や質問があればお願ひする。 ないようであれば次に進める。 議題（３）令和５年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について、事務局からの説明を求める。
(事務局)	(事務局説明 議題の「(３) 令和５年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について」資料６～８、１０ページについて説明を行う。)
(議 長)	意見や質問があればお願ひする。
(事務局)	次年度の事業計画について、また連携課題について、各委員より意見を伺いたいがよいか。
(議 長)	(委員に確認) それでよい。
(委 員)	今年度の医療・介護関係者の研修について、小児の在宅医療がテーマとなっている理由を教えて欲しい。コロナ前に開催された多職種研修会が

	よかったので、開催してもらいたい。
(相談員)	講師は、医師会理事より紹介があった。今回は小児科であるが、在宅医療に取り組んでいる医師で、多職種連携についても話してもらえるとこのことで依頼することになった。
(委員)	老々介護の問題など介護保険のチームだけでは解決が難しいことも多い。在宅では多職種のすそをを広げ、地域の人、市にも関わってもらえるとよい。困難事例の支援に地域ケア会議を活用し、リハビリ職も参加していきたいと思う。
(委員)	看護協会では、医療・介護関係者の研修会を開催していたが、コロナ禍で中断。今年度は急遽、コロナ療養者の対応について、保健所等の協力を得て開催、施設同士の情報交換が活発に行われていた。5年度は多職種連携の研修会を予定し一緒に企画できればと思う。
(委員)	コロナ禍で多職種での研修の機会は減少、薬剤師がまだまだ認知されていない状況や薬剤師自体情報不足の面がある。多職種の研修会があれば参加して、薬剤師ができることを考えていきたい。
(委員)	コロナ禍で訪問（歯科）の活動が減少、また活動できる状況になればと思う。「介護事業所等一覧」について、一般の人への公開状況は、包括支援センターで配布してもらえるのか。
(事務局)	市のホームページに掲載、相談や問い合わせがあった方には、包括支援センター等で配布している。
(委員)	目標のところでは別紙1について、事業項目が8項目から7項目に変わったのは、地域の実情に応じてより柔軟な運用を可能とする観点からの見直しにより減ったのでよいか。
(事務局)	ご指摘のとおり。その他、③対応策の評価、改善が追加になっている。
(委員)	資料から、目的、目標や、達成度があまり見えない。実績や取組予定はわかったが、目標に向かって、これだけよくなったという対応策の評価が見えないので、明確にした方がよい。それぞれの事業、アンケートと頑張

	<p>っている。もう少し評価できる形にすると今回の見直しにつながってくると思う。</p>
(委員)	<p>コロナにかかった人、点滴が必要な人や高齢者など重症化しやすい人の療養先が市民病院一択になっている。在宅療養に対応するために、コロナのこと、感染対策などの学習、周知をしてもらい、在宅の人がかかったときに、迅速に対応できるようになればと思う。</p> <p>訪問（訪問診療）では、看取りとなるケースが多い。以前は亡くなられたときに家族が慌てて救急車を呼ぶこともあったが、最近は、訪問看護やケアマネが事前に家族に説明し、落ち着いて対応できることが増えた。個人的ではあるが、家族に医師（直通）の連絡先も伝えている。他に訪問している医師は連携が取れているのか、疑問に思っている。</p>
(委員)	<p>訪問看護に従事。コロナが始まり病院で面会ができない。コロナが落ち着いたときに、病院の対応がどうなるのか、市民病院が面会をいつから進めていくのか疑問。施設では対面面会できる場所も多くなっている。在宅で看取りができない方もいるので、家族の看取りの気持ちを考えると前向きに検討して欲しい。</p>
(委員)	<p>通所介護では、コロナ禍の感染対策や、利用者の受け入れなど悩みながら対応してきた。担当者が電話や書面で行うことが多く、多職種と話をする機会が減った、情報共有がしにくい。第5類になったときに、顔と顔を合わせて、その方の話しができるようになればと思う。</p> <p>職員の研修では、全てオンラインで、見るだけで受け身的。集合研修ができるようになればと思う。</p>
(委員)	<p>最近受けた相談で父が息子を看ている方、最近失便があり腸整薬の処方を受けていたが、かかりつけ医以外に相談できるところの問合せがあった。まずはかかりつけ医の相談、次に消化器内科の紹介を行いたいが、近くの内科が閉院し紹介する病院に迷った。大川地区医師会に相談できると思うが、どの辺まで相談してよいかわからない。電話やメールなど気軽に相談できるツールがあれば便利だと感じた。</p>
(委員)	<p>対応策の実施（オ）の地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの相談支援について、香東園は看護師の相談員を配置しているが、多くのセンターはケアマネで構成している。相談員が医療職であると、医師や医</p>

	<p>療機関などと連携がスムーズに取れることが多い。ケアマネとしても身近なところに相談員がいると相談しやすく、一緒に動いてくれるとありがたい。センターに看護師が配置できるよう行政にサポートしてもらえれば、市全体の連携の深みになると思う。</p> <p>(エ) の情報共有の一覧について、連絡先の情報ではあるが、多職種の情報や情報の共有として活かしきれていない。対面で顔と顔を合わせて情報交換できる場で回数を重ねることで、連携、信頼関係の構築につながる、そういう場を増やしてもらえればと思う。</p>
(委員)	<p>コロナ感染対策、ワクチン関係においても大変お世話になっている。今、国で議論されている、マスクのこと、来年度のワクチン接種など審議会の結果は8日当たりに出る予定、5類への引き下げの話も承知のとおり。また、ワクチン（オミクロン株）の接種状況では、高齢者、医療関係者は高く、高齢者は1万3千人程度、7割代の接種率となっている。来年度の接種については、今のところ全ての人を対象であるが、感染リスクを下げる目的で、まず重症化リスクの高い高齢者や感染リスクの高い人、医療関係者、介護関係者も含まれる予定で、5月～8月頃の接種を想定し、準備を進めている。今後とも協力をお願いしたい。</p>
(事務局)	<p>職種を通じて貴重な意見をいただいた。在宅で、本人、家族を支援するためには、多職種で連携して支援することの大切さを感じた。そのために、日頃から相手を知った連携が大切で、研修が有効な機会になることや地域ケア会議も上手く活用できればと思う。研修の内容についても、コロナ対応をはじめ色々な意見を頂いたので、役立つもので行えればと思う。あと、事業の進め方では、事業評価などPDCAサイクルを回して、一つからでも役立つ事業、連携の体制づくりにつながるよう、計画に活かしていきたいと思う。ありがとうございました。</p>
(議長)	<p>他に意見はないか。 (意見等無し) 以上で本日の議事を終了する。</p>
(事務局)	<p>(閉会) ご協議いただき、ありがとうございました。皆さんから出た意見は、大川地区医師会、東かがわ市と連携して事業運営に活かしていきたいと思う。次回協議会は7月頃を予定しているので、参加をお願いしたい。</p>

	<p>以上で、令和4年度 第2回さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会を終了する。</p>
--	--